

令和6年度

三重県・鈴鹿市総合防災訓練について

12月22日(日)に大規模災害に備え、鈴鹿市地域防災計画の円滑な運用に資するため、地域住民、医療機関及び関係団体の方々と情報伝達、受入訓練をおこないました。職員が参加し真剣に訓練に取り組んでいました。



糖尿病・腎臓病教室についてのお知らせ

当院では糖尿病・腎臓病それぞれの教室を開催しています。病気と上手く付き合うために楽しく学べる教室です。当院通院の方だけでなく、ご家族の方や他院に通院の方、関心のある方ならどなたでも参加していただけます。要予約制、参加費は無料で食事療法に役立つサンプル品のお土産付きです。

糖尿病教室開催日程

4/25(金) 14:00~15:00
6/27(金) 14:00~15:00

腎臓病教室開催日程

4/15(火) 14:00~15:20
6/17(火) 14:00~15:20

お申し込みまたはお問合せ先

栄養管理課: 059-375-1329
※やむを得ず中止させていただく場合がございます。
最新情報につきましては病院ホームページをご確認下さい。



公認スポーツ栄養士誕生

この度、日本栄養士会および日本スポーツ協会の共同認定資格である公認スポーツ栄養士を取得しました。小学生から大人まで幅広い年齢層のアスリートに携わっております。クラブチーム全体での講義、減量や増量などの個別サポート等、何でもご相談下さい。



編集後記

皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町112番地の1
TEL 059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com

病院の理念

病院の方針

- ▶個人の尊厳を守ります
- ▶地域の基幹病院として医療機関と連携し健康の増進に貢献します
- ▶災害時に救援活動を行います
- ▶チーム医療を推進し安全で高度な医療を提供します
- ▶将来を担う有能な医療従事者の育成に努めます
- ▶働きやすく健全な病院運営に努めます

生命への奉仕

ほっと smile
沖縄のちゅうざん 病院施設見学

当院では令和7年度内の回復期リハビリテーション病棟開設に向け、昨年12月に3日間、福田医師および鈴木・岩田(理学療法士)の3人が沖縄のちゅうざん病院へ視察に伺いました。ちゅうざん病院では多職種によるチーム全体で、患者様がリハビリに自主的かつ自然に取り組めるような環境作りを強く感じました。早朝からほぼ全ての患者様が車椅子離床されており、特別な機器を使用することなく、リハ職が関わらない時間帯でも立ち上がり練習や自主トレーニングが十分に行われ、運動負荷や運動量が確保されていました。今後当院でも模範とする場面が多く、とても有意義な研修になりました。



編集後記

皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町112番地の1
TEL 059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com

再生ニュース
K a i s e i N e w s

- 1 医療の現場から
「病院増改修工事を開始しました」
- 2 あなたの街のお医者さん
「鈴鹿内科呼吸器内科」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
- 4 鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・誤嚥予防 Part5
・大豆トマトソースパスタ～パセコン添え～
- 6 病院薬剤師によるくすりと健康情報局 VOL.4
・えっ!2000万円以上給付されるかもしれない!?
～医薬品副作用被害救済制度について～
- 7 Information ほっと smile 他

137号

2025.3月発行

発行／社会医療法人 峰和会
編集／鈴鹿回生病院
所在地／鈴鹿市国府町112番地の1
TEL／059-375-1212
FAX／059-375-1717
URL／http://www.kaiseihp.com
編集協力／TCKnagoya



Progress information

01

令和7年8月完成予定 救急外来増設



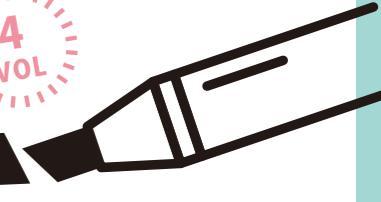
令和7年度完成予定 患者支援センター

患者支援センターは、予定入院される患者さんが、安心して入院治療を受けられるよう、入院前から他職種が協働して支援をするとともに治療後の円滑な退院を支援する業務を行います。拡張工事を予定し新しい環境作りに取り組みます。





病院薬剤師による
くすりと健康情報局

4 VOL


えっ！ 2000万円以上給付されるかもしれない！？
～医薬品副作用被害救済制度について～

薬を正しく使ったにもかかわらず、その副作用により入院治療が必要になるほど重篤な健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が行われる公的な制度である、「医薬品副作用被害救済制度」をご存じでしょうか？救済給付には医療費・医療手当・障害年金・障害児養育年金・遺族年金・遺族一時金・葬祭料の7種類があります。詳しくは、医薬品医療機器総合機構（PMDA）ホームページ（<https://qr.paps.jp/xyzm>）を参照してください。

正しく医薬品を使用したにもかかわらず、重症な副作用が生じ、入院後不幸にして亡くなった場合は、2000万円以上の給付が受けられる可能性があります。この制度を知らずに、請求を行わなければ、当然給付されることはありません。給付の請求は、健康被害を受けたご本人またはそのご遺族が直接、PMDAに對して行う必要があります。



出典：独立行政法人医薬品医療機器総合機構

※救済給付の決定に不服があるときは、厚生労働大臣に対し、審議申立てをすることができます。
(<https://qr.paps.jp/99Y87>)

給付された例（医薬品・医療機器等安全性情報 No.328、405）

<p><事例 1> てんかんのためカルバマゼビン錠を服用後、薬剤性過敏症候群を生じ、約1ヶ月間の入院加療を行った。医療費及び医療手当が支給された。</p>	<p><事例 2> バルプロ酸ナトリウム錠を服用後、劇症肝炎を生じ、死亡に至った。医療費、医療手当、遺族一時金及び葬祭料が支給された。</p>	<p><事例 3> イブ®A錠を服用後、多形紅斑型薬疹を生じて入院加療を行い、医療費・医療手当が支給された。</p>
--	--	---

筆者プロフィール

薬剤師 青 孝明

薬剤管理課・課長代理。院内の医薬品の安全管理や、がん薬物療法業務に従事。資格は、がん薬物療法認定薬剤師、日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師、ファイナンシャルプランナー3級。



誤嚥予防 Part5

今号は口や舌の動きをよくするために、早口言葉を紹介します

Level1

なまむぎ なまごめ なまたまご

理学療法士
安藤 優伽

Level2

隣の客はよく柿食う客だ



Level3

あおまきがみ あかまきがみ きまきがみ



Level4

隣の竹垣に竹立てかけたのは
竹立てかけたかったので竹立てかけた

Point

口を大きく動かしながら、3回続けて言ってみましょう

発信@
栄養管理室

パセリ

ピックアップ食材



大豆トマトソースパスタ～パセコン添え～

材料（2人前）

スパゲティ（乾）	200g
A 玉葱	中 1/2 個
人参	1/7 本
えのき茸	1/5 袋
セロリ	1/4 本
にんにく	1 かけ
油	小さじ 2
水煮大豆	80g
水煮トマト	100g
水	150ml
砂糖	小さじ 2/3
チキンコンソメ	6g
塩	1g(小さじ 1/6)
こしょう	適量
バジル（粉）	適量
B パセリ	5g(1本)
バター	10g(小さじ 2 強)
粉チーズ	大さじ 2 弱

作り方

準備：A の野菜を全てみじん切りにしておく、パセリも軟らかい軸のところまでみじん切りにし、軸と葉の半量は煮込み用、葉の半量は天盛り用とする

- ①フライパンに油をひき、弱火でにんにくを香りがでるまで炒める
- ②そこへAを入れしなりするまで中火で炒め、Bとパセリの軸、パセリの葉半量を入れて水分が飛ぶまで煮込む
- ③④へバターをいれて火を止める
- ④茹で上がったパスタに③を盛り付け粉チーズ、パセリのみじん切りを天盛りして出来上がり

栄養成分（1人分）

エネルギー	528Kcal
たん白質	22.0g
脂質	13.3g
食塩相当量	2.4g
食物繊維総量	10.7g

あなたの街のお医者さん

連携医療機関紹介

鈴鹿内科呼吸器内科



▲ 丸山 泰貴院長

令和6年4月1日開院しました

鈴鹿内科呼吸器内科は、南玉垣町交差点にあるスギ薬局の隣、先生の笑顔の看板が目印です。



院長の丸山泰貴先生は、2006年福井医科大学（現福井大学）をご卒業後、四日市社会保険病院（現四日市羽津医療センター）にて2年間の初期研修を受けられます。その後、東京都立墨東病院では総合診療科を、聖マリアンナ医科大学では救急医学に所属し、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院などに所属し3次救急、集中治療を学び救急科専門医を取得。その後同病院の放射線科移動、医局派遣により災害医療センター、町田市民病院などで研修を行いました。またIVRができる場所を求め大阪の箕面市立病院に移動し放射線科専門医を取得しました。

医師を目指したきっかけ

元々研究者を目指し浪人していた際に将来の事を色々と考えたのだと。自分が楽しいと思えることを仕事にしたい、そう考えた時、自分にとっての楽しい

ことは知識を得ることでした。人間の体の組織は何でできているんだろう？と、もっと深く知りたいと思ったんです。『医療』というよりも、『人体』という生物の仕組みをより深く理解したいと考え、医学部を目指しました。その後勉強していくうちに、『医療』にも興味がわき、患者さんのニーズに応えられる医師になりたいと、総合診療科の道を選択されました。先生の取得した専門医資格は全ての分野が全身を診ることに焦点をあてた分野です。開業を視野にいれて勉強されてきたのかと伺うと「実は開業は視野にいれていなかったんです。ただ、この仕事が好きなので、死ぬまで全うするには開業しかないと考えるようになり縁があってこの鈴鹿で開業させていただくことになりました」。

専門知識を活かした
患者に寄り添う診療

総合内科専門医は内科の9分野の知識を有しています。そこに放射線科専門医をもっている先生の強みを伺うと、「肺塞栓の患者さんを単純CTで診断し、連携医療機関に紹介させていただいたり、呼吸器疾患のある患者さんも診断の過程で画像診断を必要とする場合も多くあるため、放射線科の専門医としての知識を活かし迅速且つ正確な診断を行っています」。

またさまざまな検査をしても異常がでないけれど、不調を訴える人、いわゆる機能的疾患ですが、このような疾患をみつけて治療していくことも医師としての醍醐味だと語る先生。10代前半から15歳前後の思春期の診療も得意分野だとおっしゃいます。

「頭痛や腹痛で不登校になるなど、仮病扱いされがちなのですが実際には機能的疾患が多いんですね。彼らの人生はこれからなのに、不登校がきっかけで社会をドロップアウトしてしまうことは避けたいですね。睡眠相後退症候群といって、

DATA

TEL 059-373-6100

住所

鈴鹿市南玉垣町2852-3

診療科目

- 内科 ●呼吸器内科 ●皮膚科
- 小児科 ●放射線科 ●アレルギー科

診療時間

午前／9時00分～13時00分

午後／3時00分～6時00分

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	×	○	○	○	×
午 後	○	○	×	○	○	○	×

休診日

水曜・日曜・祝日

<https://suzuka-cl.com/>

体内時計が遅れているために夜眠くならず、昼前にしか起きれない。こういった病気があるんです。ただの生活習慣の問題というよりも、病気として捉えるべきで、薬を使うと症状が緩和されて不登校が改善した患者さんも多くおられます。

患者さんへのメッセージ

～長引く咳、偏頭痛は甘く見ず、まずは診せていただきたいですね。長引く咳の場合は喘息の可能性もあり、統計ではどちらの疾患も人口の10%前後の人方が持っている病気です。必要があれば、鈴鹿回生病院さんのような基幹病院へ紹介させていただきますので、遠慮なくご相談ください。～今後もこの地域の頼れるかかりつけ医としてご活躍されることでしょう。

